

神戸・南京をむすぶ会・ZOOM 講演会

## 「重慶爆撃(1938年～1943年)を受けた被害者たちの戦後」

講師：沢田猛さん（元毎日新聞記者）

日時：2022年4月27日（水）午後7時～8時半

会場・ZOOM

※飛田 hida@ksyc.jp までお申し込みください。

ZOOM アドレスをお知らせします。

参加費：500円／

郵便振替<00930-6-310874 神戸・南京をむすぶ会>に振り込みください。



コロナが収束をみせていません。今夏の中国訪問も実現しそうにありません。むくげの会では、2020年8月に南京・重慶を訪問し「重慶大爆撃」跡地を訪ね幸存者のお話を聞くこともできました。

今回の講演会では、『空襲に追われた被害者たちの戦後—東京と重慶 消えない記憶』（岩波ブックレット、2009.3）を出されている沢田猛さんを講師に迎えます。沢田さんは、むすぶ会のツアーにも参加された仲間でもあります。80年前の「重慶」、そして被害者の「戦後」について学びたいと思います。

### ●ブックレット紹介『空襲に追われた被害者たちの戦後』

「1945年3月10日の東京大空襲、それに先立つ日本軍による中国・重慶への爆撃は、いずれも多くの命を奪い、九死に一生を得た生存者たちも苦難の人生を歩むことを余儀なくされた。長年の沈黙を破って日本政府に補償を求める訴訟を起こした被害者たちの声を通して、彼我を問わず、常に民衆に犠牲を強いる戦争の本質を浮き彫りにする」

（目次／はじめに一声なき声を追って／東京大空襲—まだ終わらぬ戦争（厚い壁；戦災孤児；棄民；深い傷；二度の戦禍；トラウマ；知られざる犠牲者；慰霊碑）／重慶爆撃—忘れられた戦禍（叶わぬ夢；母の涙；半面美人；黄色い靴下；どん底；身売り証文；一党執政）／おわりに—被害と加害を越えて）

### ●講師紹介：沢田猛（さわだ たけし）

1948年、東京都生まれ。1975年毎日新聞社に入社。2008年東京本社社会部編集委員を最後に退職。中央大学法学部兼任講師、全国空襲被害者連絡協議会事務局長などを務めた。著書に上記の本のほか、『くにざかい・糸に生きる—青崩峠を越えた女たち』（影書房、1993.9）、『黒い肺—旧産炭地からの報告』（未来社、1995.6）、『ルソン島戦場の記録—たたかいと飢えの中を生きて』（岩波ブックレット、2003.8）などがある。



主催：神戸・南京をむすぶ会

代表・宮内陽子／副代表・林伯耀、門永秀次／事務局長・飛田雄一

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22 神戸学生青年センター内

TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019 URL <https://ksyc.jp/nankin/> e-mail [hida@ksyc.jp](mailto:hida@ksyc.jp)

